

	9月	2021年度
組合員ふやし	80人	632人
出資金ふやし	428万円	6,231万円
純増	△224万円	△805万円

9/18強化月間直前 職員向け生協加入お勧め「達人講座」④開催 医療生協に加入されていると安心ですよ

達人講座最終回には、福島生協病院医事課2名、介護事業部7名のご参加がありました。14名もの参加のあった生協さえき病院に続き、介護事業部は4回を通じて総勢12名の参加で、生協けんこうプラザ内の中央ヘルパー・中央居宅・かんおん24・コスモス・介護事業部にとどまらず、この最終日には、五日市訪看・草津かもめ・くさつ24からも駆けつけていただき、主催者側の感激もひとしおでした。

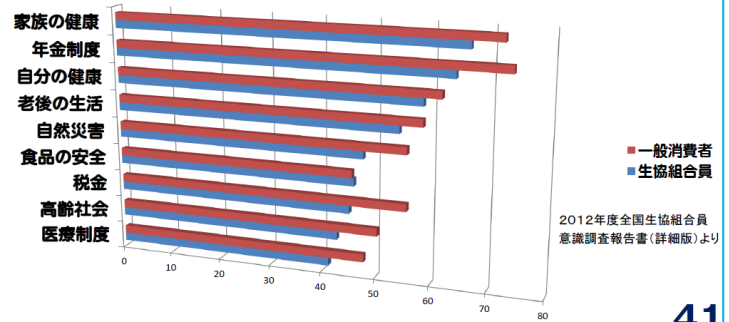


右の棒グラフ、赤が一般の方・青が生協組合員。生協では班の集まりで、不安なことを出し合ったり、医療や介護の専門家に相談もできて不安感が解消されていると、講座でも紹介されました。

「今後の生活を考える上で心配なこと」調査にて⇒
生協組合員は「不安感」が一定、解消されている。

【問4】今後の生活を考える上で心配なこと(複数回答)

(%)	家族の健康	年金制度	自分の健康	老後の生活	自然災害	食品の安全	税金	高齢社会	医療制度
一般消費者	72.0	73.6	61.6	58.4	55.6	45.6	55.6	50.3	47.8
生協組合員	66.3	63.9	58.4	54.2	47.7	46	45.1	42.8	41.2



41



(田中さき子理事は職員としての経験から話を始められました)福島生協病院には産婦人科もあって、小児科の乳児検診もにぎわっていました。核家族化が進み、お母さん達が孤立化して不安を抱えている時、小児科の乳児検診に保育士が育児相談に入り始め、たくさんの子育て班ができました。(←これぞまさに事業所と地域の連携実践！)

退職後は己斐上支部に所属して組合員活動を始め、定年後の一つの居場所となっています。組合員でもある古くからの知人が高齢となり、認知症の症状が出たりした時、支えたいと思うけれども、支える側にもいろいろな事情があります。1対1の関係で無理をすると共倒れになると思うんです。そんな時、班や支部のつながりを通じて、みんなで支え合う、これができているのが生協です。自宅で暮らし続けるのが難しい段階になったら、生協の医療・介護の専門家に相談すればいい。私たち地域で活動する組合員はその橋渡し役ともいえます。

そして、組合員さんは私たちの病院・診療所だと、とても強い愛情をもっておられます。病院建設の時に、この柱は自分の出資金で建ったのだと、誇りをもって言われた方もありました。苦情をいわれる患者さんもおられると思いますが、組合員の熱い気持ちの表れと受け止めてもらえたらなと思います。

(田中さき子理事のお話より)

生協加入お勧め達人講座は、事業所のご都合に合わせた出張講座も可能です。地域包括ケア部までご相談ください。組合員加入の昨年実績2割増達成めざして、生協強化月間がんばりましょう！！